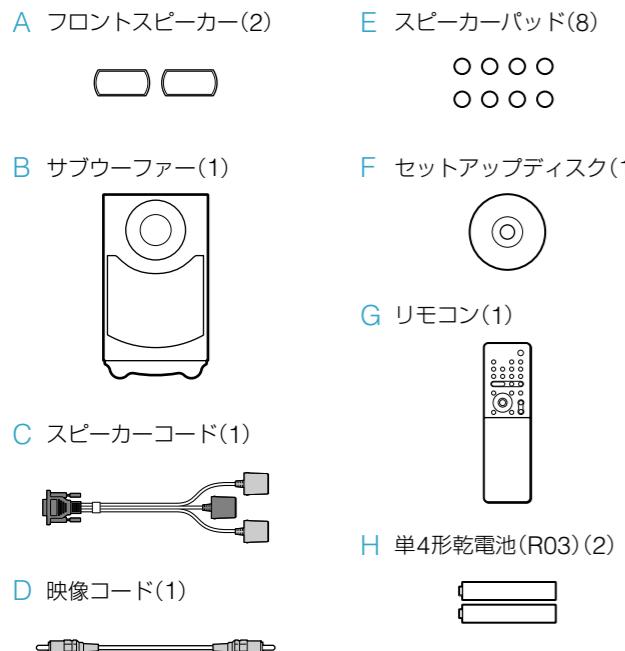


DAV-X1

かんたん接続・設置ガイド

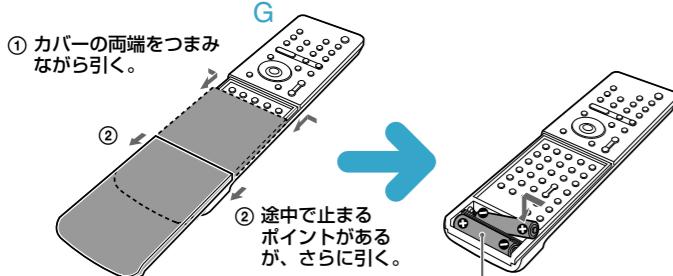
このかんたん接続・設置ガイドでは、本機とスピーカーやテレビの接続と、ホームシアターを楽しむために必要な設定・設置について説明しています。その他の接続・操作について詳しくは、付属の取扱説明書をご覧ください。

付属品を確認する

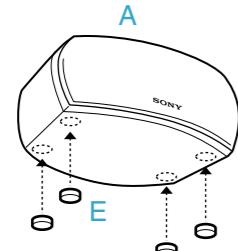


他の付属品について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

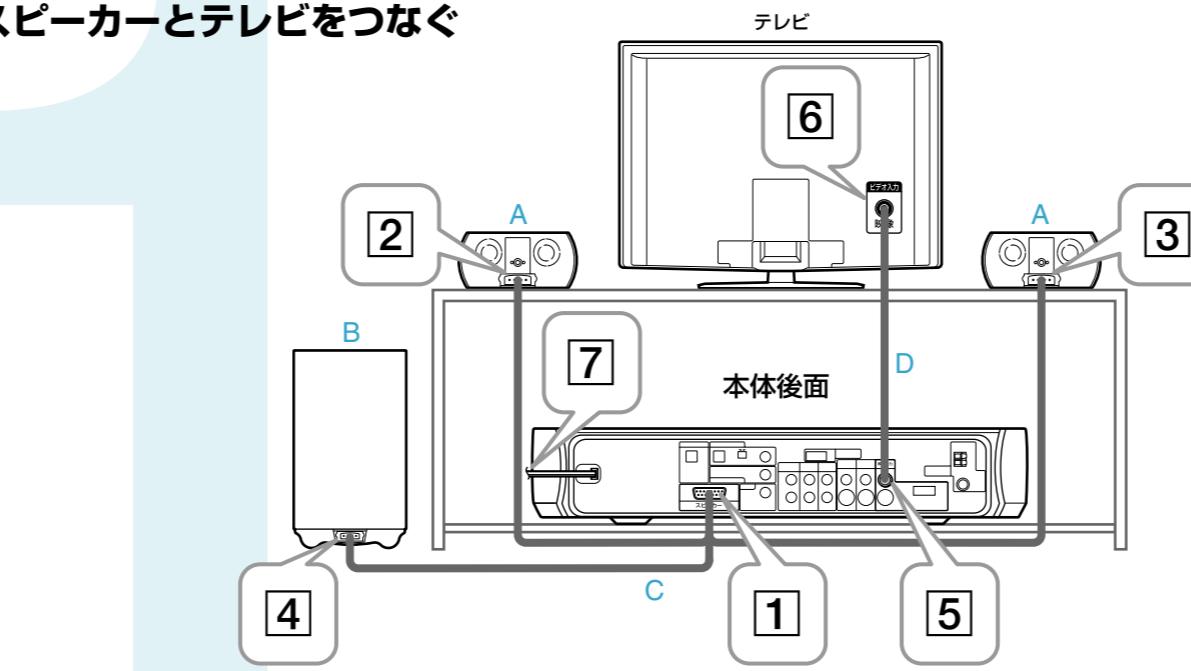
リモコンに電池を入れる



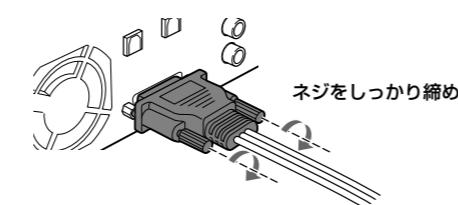
フロントスピーカーにスピーカーパッドを貼る



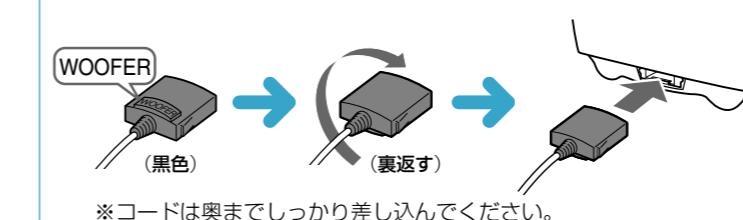
スピーカーとテレビをつなぐ



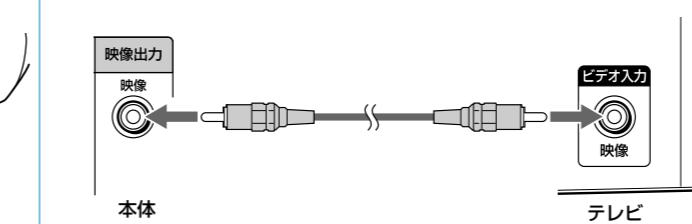
① 本体にスピーカーコードをつなぐ



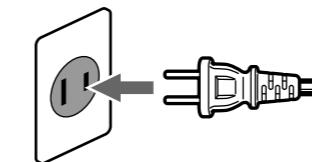
④ サブウーファーにスピーカーコードをつなぐ



⑤⑥ 本体とテレビを付属の映像コードでつなぐ



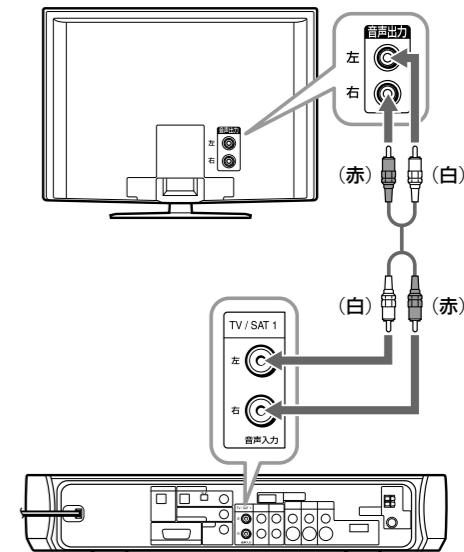
⑦ 電源コードをコンセントにつなぐ



テレビの音声を本機のスピーカーで楽しむには

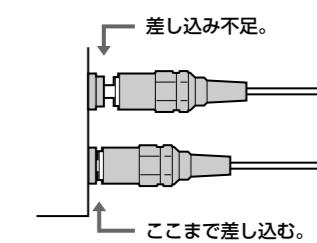
お手持ちのテレビに音声出力端子がある場合、テレビの音声を本機のスピーカーで楽しむことができます。

テレビの音声出力端子とつなぐ (ステレオ音声コードは別売りです。)



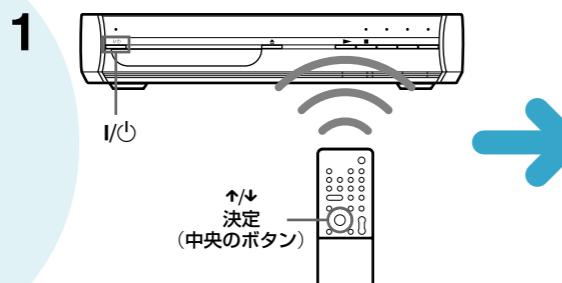
光デジタル音声端子とつなぐ場合は、取扱説明書の「テレビをつなぐ(テレビの音を本機のスピーカーで聞くための接続)」をご覧ください。また、テレビの音声を実際に楽しむ場合は、取扱説明書の「テレビの音声を楽しむ」をご覧ください。

映像コードやステレオ音声コードをつなぐときのご注意
コードをつなぐとき、プラグは根元までしっかり差し込んでください。



…>2

つないだテレビに合わせて設定をする



1. I/□電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。 2. ↑/↓を使って本機に接続したテレビ画面の縦横比を選び、決定ボタンを押す。
つないだテレビの画面の種類(ワイドテレビまたは4:3画面テレビ)を右図にあわせて設定します。
- 画面の下部に[クイック設定するには[決定]を押してください]のメッセージが表示されます。ディスクが入っていない状態で決定ボタンを押してください。

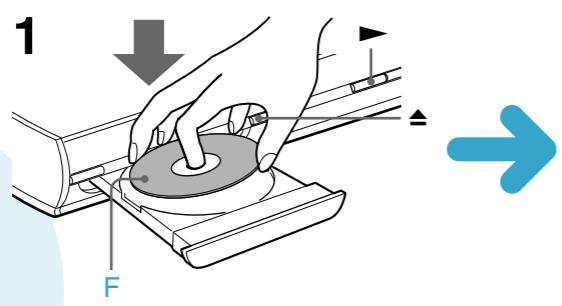
ご注意

このメッセージが表示されないときは、取扱説明書の「手順5:つないだテレビに合わせて設定をする(クイック設定)」をご覧ください。

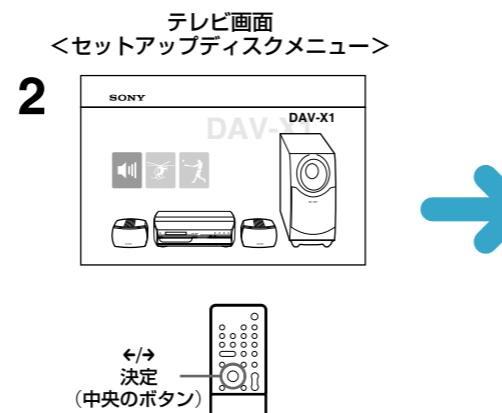
16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。
4:3レターBOX	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
4:3パンスキャン	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

…>3

スピーカーを設置する

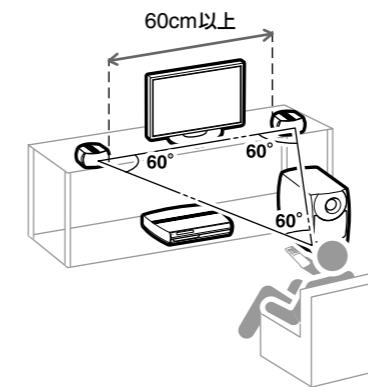


1. 本体の▲を押して、付属のセットアップディスクを入れる。
セットアップディスクをディスクトレイに入れ、本体の▲を押してください。
セットアップディスクメニュー画面がテレビに表示されます。



2. 視聴位置に座り、leftrightarrowを使つて画面に表示された3つのアイコンの中から好みで1つ選び、▶ボタンまたは決定ボタンを押す。
選んだ項目が始まります。

3



3. スピーカーの配置を調整する。

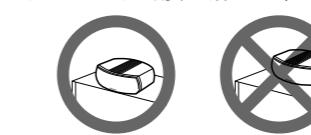
音を聞いて、最適なフロントサラウンドの効果が得られているかを確認します。もし十分な効果が感じられないときは、スピーカーの配置を調整してください。

フロントスピーカー配置のご注意

- 左右のフロントスピーカーの距離と視聴位置からの距離を等間隔にする(上の図のような正三角形となるように配置する)。
- 左右のフロントスピーカーは60cm以上離して配置する。
- フロントスピーカーは視聴位置にいるときの耳の高さと同じになるように配置する。
- フロントスピーカーはテレビより前に置く。フロントスピーカーの前にはものを置かない。
- 左右のフロントスピーカーはまっすぐに置く。視聴位置に向けて置かない。

フロントスピーカー配置のご注意

- フロントスピーカーをテーブルやラックに置くときは、スピーカーを前に置く(後方に置くと音が反射するため、フロントサラウンドの効果が落ちます)。



- フロントスピーカーは壁からできるだけ離す。

サブウーファー配置のご注意

- 反響が発生しないように、できるだけ固い床に置く。
- 壁から数センチ以上離して、横に倒したりせずに置く。

ちょっと一言

フロントサラウンドの効果を確認するときは、なるべく1人か2人が視聴位置にいる状態で行ってください。

